

一町議会報告 決算一億四千万を認定

残り少ない追加財源

実質的には本年最後の町議会ともいべき第七回町議会定例会は十二月五日に招集され、全期一日で日程を議した。この定例会では三十三年度の決算認定をはじめ、本年度第二回目の追加更正予算及び懸案の七月災害関係の町税減免等の重要案件が議決されたほか、伝染病舎組合議員の選挙が行われ、次いで上程された国鉄公害屎尿処理に関する請願及び野口小規模水道補助請願はそれぞれ所管の総文委員会に付託された。なお、本会議に引き続き全員協議会では、千手巖協育庫新築（鉄筋コンクリート）に対する町費助成の件、上野小学校屋内運動場の適正規模の件、仙田郵便局敷地買収補助の件等をめぐって熱心な論議が展開され、夕刻五時ごろ散会した。

追加の主体は教育費

もう一息で一億円

本年度一般会計として第二回目の追加更正予算は、追加支出額八十四万一千六百八十円、更正減十一万九千七百五十円、差し引き七十一万二千九百三十円という額が、原案どおり議決された。今回の追加の規模がこの程度であったため、累計額は九千九百五十三万三千三百九十円と、あと一息というところまでなお一億の線を越すには至らなかった。

才出について追加の主体は三十三万四千八百円の教育費で、その内訳はこし施工した赤岩小学校の便所改修費追加二十三万、橋小ほか十カ校に対する教材費追加分十二万一千七百六十円、雪中派出機関係七万七千円、その他である。教育費のほかは、千手保育園の燃料置場六万四千円、国土調査費八万五千円、財産費として上野駐

一名を選定し、これを財政委員会事前審査に付してさらに五十一名にしようとしたもので、減免額はたいがい固定資産税第二期以降で総額九万九千八百三十円に及んでいる。この減免案について提案者からの詳細な調査結果の説明並びに、財政委員長の審査経過の所見が述べられた結果、これを了として全会一致可決したものである。

現金操作を合理的に 決算審議のあらまし

昭和三十三年決算については一般会計のほか六件にのぼる特別会計の総額は一億四千万円に近い膨大なものであり、この定例会の最も重要な議題の一つであったが、たいがい例年どおりの審議経過により承認された。

戸籍の窓から

たかさご 御円満に

- 新婦 柄澤 勇治 学校町
- 新婦 本間 敏恵 相川町から
- 新婦 丸山 一八 根深
- 新婦 丸山ハルニ 原田から
- 新婦 竹屋 忠 永久公舎
- 新婦 花邊恵美子 長岡市から
- 新婦 雨雲 勝次 田中
- 新婦 瀧澤とみ子 群馬県から
- 新婦 数藤 忠夫 沖立
- 新婦 中村アツ子 坪山から
- 新婦 数藤 輝夫 沖立
- 新婦 小林トシ子 津池から

行なわれた監査の結果について、報告があったのち、出納検査立会議員（和久井精一・齊藤寿美翁・高橋信吾・小海八太郎の四氏）からそれぞれ所見が述べられ、次いで質疑、討論が行なわれたがその主なるものは次のとおりである。一般会計については、予算額がゼロになったまま赤字支出してある点は、予算を追加更正してからの支出すべきである。現金操作を合理的に運用して一時借入金金の利子支出を抑制すべきである。土木、農林関係の自動車借上料支出が多額であるが、町として自動車を購入する必要がないか、等の発言があり、特別会計については、国保保険料の納入成績は良好であるが、一部悪質と認められる滞納については適正な処置をとること。国保給付費と診療所の診療収入の関係を改善合理化することに留意すること。国費補助確保には努力のあ

【町の掲示板】

①十一月一日付で、千手土地改良区の事務所が役場内におかれた。職員は富井相四郎氏（上野）と大塚甚一君（伊友）の二名で、土地改良事業の計画遂行にあたる。②いま、ねずみの一せいの駆除が行なわれている。一匹ごとに宝くじ一枚と交換してくれるが、くじが当たるとテレビなどがもらえる。③普及所の高橋所長に、こしの雪を伺った次の名答が得られた。初雪は十二月六日の朝がた（こ）れは当たった、中下旬に平野部と出でいて平年並、ところによってはやや多めの降雪があった。地域差が大きくなりそうという。「ところによらなければ心配なからう。」との託宣であった。

ふるさと

高良山という偉い長者が刺殺されて「古い」の株が下がったというところであるが、川西町の「予言者」たちはあいかわらずの繁盛ぶりを見せているという話。豆腐屋の店に大きなヤグラが建てられ、やがてモーターによる新鋭井機が通行入の注目を集めた。水不足に悩む高良山が十数万円を投じ、家運をかけて掘りぬき井戸の工事をはじめたのであった。このボーリングの方針をきめた経緯であるが、さぞかし最新式の技術で、科学的に水脈を調査したであろうと思つたところ、わが山はそんなまわりくさい方法ではなかった。そして家相を見たり、病気を直すに靈驗あつたかの〇〇様から見てもらつたのである。それのお託宣は、井戸の位置はここ、深さは百三十尺以上、厚い粘土の層を過ぎると玉石となり、やがて大きな石の層に達すると良質豊富な水が地上まで自噴する。とそのものスバリであつた。勇躍してMさんは実行に移したが、困つたことにお告げの位置はちよつと隣家の入口に当たる。やむなく「M」トルぐらひはよからうと移動した百十数尺掘つた所で砂の層となつたが、ここから出る良質の水を、その先を掘ることによつて逃がしては、という井戸屋の忠告に従つて百十六尺でやめた。▲水位は底から九十数尺、自噴はしなかつたがそれはお告げどおりにしなかつた。当然の報いだと割り切つて、〇〇様の靈驗は少しも疑われなかつたというところである。

- 新婦 寺崎 博 桐山
- 新婦 太田ヨシイ 田中から
- 新婦 押木 英一 田戸
- 新婦 阿部 ナカ 田中から
- 新婦 高橋 徳平 高倉
- 新婦 小池 芳子 北浦聖籠村
- 新婦 木村 幸治 室島
- 新婦 齋木 千代 小脇から
- 新婦 佐藤 享治 霧谷
- 新婦 小林 アヤ 中仙田から
- 新婦 齋木 周平 高倉
- 新婦 若山 カネ 松代町から

昇天―御めい橋を祈る

- 星名社太郎 伊友 七〇
- 丸山 留蔵 木島 五七
- 喜多 ツ子 東善寺 八〇
- 高橋 サヨ 上町 五六
- 山口 義一 仁田 四七
- 井口 カウ 仁田 六五
- 水島 トリ 新町 八五
- 雨雲 トク 三領 五六
- 小海勇一郎 小嶺岸 五一
- 登坂 運吉 岩瀬 六九
- 高橋 順子 室島 一一

一五石どり共進会の成果

反当五石一斗を越す

一昨八日、農業センターで五石どり共進会の表彰式が行われ、中村会長(町長)から、賞状と金杯(二名)銀杯(四名)木杯(二十一名)が贈られた。

この五石どり共進会は、川西町農業改良推進委員会(税場、農協普及所、農委、共済)の主催で、水田三反歩以上の耕作者を対象に昨年度からはじめたもの。豪雪山間地の稲作技術を改善普及して農家経営を安定させ、農民生活の向上をはかることがねらいである。

晴れの入賞者は次のとおり。

- 金杯 (五石以上)
- 高橋喜久男 仙田 五・〇二
 - 南雲 幸二 千手 五・〇五四
- 銀杯 (四石五斗以上)
- 小林正治 仙田 五・〇三
 - 小川 千手 五・〇三
- 木杯 (四石以上)
- 小林正人 仙田 山岸真治 千手
 - 高橋耕一 千手 高津徳治 橋
 - 丸山仁吉 橋 小林元一 仙田
 - 雨雲 博 千手 清水松蔵 千手
 - 樋口正信 仙田 小林亮治 仙田
 - 滋野永勝 橋 星名虎雄 千手
 - 松沢 真 上野 柄沢徳治 千手
 - 小海正吉 千手 村山勇太郎 千手
 - 星名作治 千手 星名政雄 千手
 - 丸山欽一郎 橋 高橋峰吉 仙田
 - 和久井久治 橋 高橋勝治 千手
 - 村山 武 千手



年金証書の交付はじまる

さる20日、役場で国民年金証書の交付式が行われた。9月から開始した受け付けは11月末現在で577件にのぼったが、このほど第一次分として、県から70件の裁定通知があったもの。

なお、申請にしたがって決定通知がきているから、ことし中には全申請者の裁定が終わるものと思われる。写真は、中村町長から年金証書の第1号を受ける小林直三さん(79才)

撮影……………南雲直秀

戦後、農林省と朝日新聞社の共催で、米多収獲共進会が実施され、

県代表は確実視 前例のない好成绩

県の審査を 受けている五氏

県で審査を受けているのは、前記入賞者の中から選ばれた五氏だが、個人(四石五斗以上)の部では豪島の高橋喜久男さん(五石一斗一合)と、中屋敷の雨雲幸二さん(五石五斗四合)の二名である。グループ賞の部一位が確実視されており、個人賞も一位を争っているといわれる。

桜まつりに反省を

町中が桜まつりでわきあえたのは四月のこと、商工会の主催でさまざまな催しものがありました。川西名所の桜を見に夜もおおせいの観光客が来ました。

楽しかった桜まつりとして、町民からたいへん喜ばれたことは申すまでもありません。

町の声

しかし、すぐ近くの千手中学校では定時制高校生が勉強していたのです。疲れた体にムチ打って学ぼうと努力しても、「とても気が散ってノートに書くあてもなく、教科書のページだけがめくられていった。」となっていました。

ん(五石五斗四合)の二名。グループ(五人のうち上位者三人の平均が四石二斗以上)では、仙田農協青年部に所属する中仙田の小林正治さん(四石九斗三升九合)、小林正人さん(四石六斗六升六合)、小林元一さん(四石四斗六升六合)の三名である。

これらの人たちは、いずれも農業改良熱の旺盛な農家として知られているが、とくに学びたいのは出品した田だけではなく、どの田も平均してみごとな成果をあげていることだ。もちろん全受賞者についてもいえることであろう。

高橋喜久男さんの話

これだけの成績をあげる事ができたのは、別にこれといった農業技術ではありません。普及所や農協をはじめとする

庁内めぐり (12)

税務係の巻

町税六十七万を賦課徴収し、一千八百万円を地方交付税を算定して、町の歳入源を確保してくれている。その額は、実に一般会計の九十八パーセント以上を占める。係長以下十二名、税場きっての大世帯でもなお手が足りないほどいそがしいけれど、いかめしからぬ人たちが「税吏」の理にあらぬことなき。

交通道徳を守ろう

むりに追いつくバイク、自転車の二人乗り、三輪としてよけてくれない高校生、道のまん中をよさぐ女工さんの昼休み…。わたしはトランクに乗っているが、こんな事態に毎日ハラハラしている。

丸原さんから劇場口までの間は車道の両側に自動車やオートバイ、自転車などが雑然と止めてある。せめて空車のときくらいは車庫に入れてもらえないものか。大型車が通るときは道いっばいで、バイクや歩行者にはとても危険だ。

先日も事故があったが、こんなことで命を失いたくない。おたがいに交通道徳を守ろうじゃないか。(千手・ハラハラ族)

となく飲んでいる。そこで合併前のままの課税標準がなやみの種。しかし、すでに農業所得の課税標準が完了、いま実施中の固定資産評価も年度いっばいは終わる。このころから三十六年度を期して公平な課税ができるであろう。それまでの間、滞納整理の手ぬかりが心配だ。この係長は、さすがに又々メのない人だといえた。

庶務、市町村民税、固定資産税、諸税自動車税、徴収、地籍と一応の職務分担があるとはいえ、どの仕事にも全職員が一致してたらねばならず、それだけに機敏な協調性が要求されるとはいうまでもない。

根津係長は上田(南魚)の産。上野のムコとして教員生活六年、合併前まで収入役を勤めて職員の家望あつた人だ。大先輩の長ともなれば、その苦労も察せられるが、夜業(自宅で調査カードの作成)を続ける全職員なら不平一つきかないのは、氏の人徳によるところが大きい。

仕事は合理的に、何でもチキチキとやっつけてける。某氏の歌によると頭脳マイセキ(大體既成型)人オヤユするにもオチビニクルという。

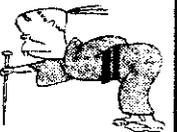
田口一朗氏(木塔、主任書記)は卒先すい艦艇の人。みんながよく勤めるのも、氏のひたむきさが感化されている面がある。また、仕事はいいわい、ウヤムヤがさうい、飲めば胸気になるオチチチ人づきもよい。ダンナ教育をオチチラスされて人望がある。

(元町 金子鉄平)



長生きはしたいもの

延びた平均寿命



正月がすぐさま過ぎてきている。「この年も達者で暮らすことができたヤレヤレ……」と、感慨にふける人は多かろう。

「いつも三月花のころ、女房十八わしや二十、死んでも命があるまじに……」よく使われてきたこのことばは、昔から生への愛着がいかに強いものであったかを示している。わたしははいつたいとれくらゐ長生きできるのだろうか。平沢徳松氏(国保衛生係長)に話してもらった。

戦後、日本人の平均寿命は急激に延びました。これは達者でいられることの喜びの表現でもあります。「人生わずか五十年」といわれた寿命が、いったいどれくらゐ延びたのでしようか。昭和三十三年度の統計を借り、略記すると、前年度に比べて男は二、一年から一、八年に、女は一、七年から二、〇年に、それぞれの平均寿命が延びています。これは死亡率の低下を示すことでもあるわけです。戦後の寿命がどのように延びてきたか、次の表をよんでくらべてください。

平均寿命一の年次推移

年次	平均寿命	
	男	女
昭和20年	23.9	37.5
21	42.6	51.1
22	55.6	59.4
23	58.0	61.5
24	61.9	65.5
25	63.4	67.7
26	63.6	67.5
27	63.4	67.5
28	63.6	67.5
29	63.6	67.5
30	63.6	67.5
31	63.6	67.5
32	63.6	67.5
33	65.0	69.6

急速に延びた寿命が停滞の傾向を示して、二、三年は下向き状態にありました。これ以上延びないのかと思われていましたが、きねねまた上昇し、女子の寿命が七十才に達するのに近いと考えられる状態です。

この原因は、右下の表(死亡率の年次推移)を見ればわかります。このような傾向は、出生率の低下とあわせて人口老化の現象を作り出すこととなりますので、国民年金制度のような、老令期の生活保障対策が必要になってくることを示しています。

死亡率 qx の年次推移 ×10000

年次	年						
	0才	10	30	40	50	60	
昭和29年	462	5	29	46	96	226	
	30	417	8	29	41	93	224
	31	408	7	27	41	92	237
	32	423	7	27	89	95	245
	33	378	6	25	27	88	222
	昭和29年	405	4	27	36	56	147
30		366	5	25	34	66	143
31		372	6	23	32	67	153
32		311	5	23	33	65	150
33		333	4	19	28	61	135

日本人の平均寿命を、諸外国のそれと比較すると下表のようになります。

日本人の平均寿命が延びてきたとはいっても、「人生七十年」にならぬといふ先進国などはいえないうちです。

諸外国の平均余命(0歳)

国名	男	女
スウェーデン	70.5	73.4
デンマーク	69.9	72.6
フィンランド	67.8	73.3
アイスランド	65.0	71.2
オーストリア	66.2	70.2
アメリカ	67.3	73.7
イギリス	63	69
日本	63.9	68.4

ある女教師の手紙

「先生、書いてください。」と、且夫君が来ました。「どんなことか……」と尋ねます。「師は(師走)という題でお願いします。ニヤリとしているのです。」「うまいテーマだね。」わたしはカプトをゆきました。

「花村先生は忙しがり屋で、ときどき廊下を走ったりする。」「十二月のことを師はすともいいます。」「うん。」といったくちで新聞部が相談したのでしよう。「師はす」とはいって来たことばか知りませんが、年の暮になるのと教師が走りまわります。って、ほんとに毎日が忙しくて、そわそわする日が続くことになったら、昔と比べものになりません。

「先生、書いてください。」と尋ねます。「師は(師走)という題でお願いします。ニヤリとしているのです。」「うまいテーマだね。」わたしはカプトをゆきました。

「先生、書いてください。」と尋ねます。「師は(師走)という題でお願いします。ニヤリとしているのです。」「うまいテーマだね。」わたしはカプトをゆきました。

「先生、書いてください。」と尋ねます。「師は(師走)という題でお願いします。ニヤリとしているのです。」「うまいテーマだね。」わたしはカプトをゆきました。

「先生、書いてください。」と尋ねます。「師は(師走)という題でお願いします。ニヤリとしているのです。」「うまいテーマだね。」わたしはカプトをゆきました。

昭和三十三年度の川西町は、出生二百五十六人に対して死亡百十七人となっています。したがって人口が増加し、平均寿命が延びているわけです。

しかしこの平均寿命も、たゞ何となく延びてゆくというのではなく、みなさんが常に栄養と衛生に留意し、健康であることに努力する結果のあらわれなのでしょう。長生きはしたいものです。

来月は新年号、これを飾るべく特別投句を期待しています。

題を「新年雑感」とし、一人五句以内、十二月二十五日までに金山柏樹会へ投句してください。

なお、投句には「新年年投句」の旨を明記のこと、入選者には記念品を贈ります。ひとりも多くご投句をお願いします。(柏樹)

秋日さす福子にゆく鶴二つ
小白翁 柳風
こぼろ畑たき火して焼った豚の
あり 小白翁 風来坊
わたさあへ深く農道冬近し

野二 寅夫
金山柏樹選

「国民福祉年金」適用範囲を拡大

福祉年金の適用範囲が次のように拡大されました。「該当しない」といわれた方でも、いまひとつ申し出て下さい。(社会係)

- 内科的な疾患による障害者のうち、上半身、下半身が不随な方。
- 二十五才以上の手がいない母子世帯で、義務教育終了前の子の生計を維持していると認められる母

年末に犯罪が発生しやすい理由として、次のことがあげられます。よく注意して明るい新年を迎えてください。(川西部長派出所)

- ① 一人ごしの中、 unnecessaryな金や貴重品を持って出かける。
- ② 横かどヒツタかられるおそれのある所やサイフから金を出す。
- ③ 一人前で札束を切る。
- ④ 不審者に無とん着ている。
- ⑤ 一うまい話にワツカリ乗る。
- ⑥ 一目じまりをなげざりにしたり、施錠を怠らしたりする。
- ⑦ 一酒の飲たすき飲たすき。

「先生、書いてください。」と尋ねます。「師は(師走)という題でお願いします。ニヤリとしているのです。」「うまいテーマだね。」わたしはカプトをゆきました。

編集後記

◎紙上の匿名はさしつかえありませんが、住所氏名はハッキリと書き添ってください。

◎お返事を、と思いついても匿名の方が多く、編集部の意向をお伝えすることができません。

◎この「新生活運動」のモットー、年末年始の簡素化に心がけましょう。毎日のあわたたしさもシメツクリの月なればこそです。

昨日といひ今日と暮らしてあすは川、流れて早稲月日なりけり (古今集)